



青木峯藏叙勲取消ノ件  
右謹テ裁可ヲ仰ク

昭和十八年五月二十六日

内閣總理大臣東條英機



内

閣

賞勳局第三七二號

昭和十八年五月二十日 内閣書記官長

五月二十六日

内閣總理大臣

賞勳局總裁

青木峯藏ハ飛行機事故ニ依リ危篤ニ陥リタル際左記頭書通敍勲セラレ候處今回ノ事變ニ於テ昭和十五年四月二十九日以後ノ功績勲六等瑞寶章擬敍ノコトト相成候趣ヲ以テ該敍勲取消方所管長官ヨリ上奏有之調査ヲ遂クルニ今更不都合ノ次第ニ候ヘ共事實不得止儀ト被認候條申立

賞勳局

ノ通取消相成候様致度此段上申ス

青木峯藏

昭和十五年十二月二十八日 敍勲八等授瑞寶章



めくれず

昭和十五年十二月二十八日  
叙勲八等授瑞寶章

航空局囑託 青木峯藏

右、者頭書、通叙勲セラレタル蒙本人ハ  
當時大本營陸軍部囑託（無給）トシテ支  
那事變（第二次）ニ關與シ其ノ功績優秀ニシテ  
叙勲ニ該當可致趣判明致候ニ付テハ該叙勲  
御取消方被仰出度恐懼  
謹テ奏ス

昭和十八年五月十五日

逋信大臣 寺島

健



めくれず

裏面白紙

事由書

昭和十五年十二月二十八日  
勲八等授瑞寶章

航空局囑託 青木峯藏

右ノ者昭和十五年十二月二十日三菱式M C二〇型第一號ヲ操縦シ東京灣上空ニ於テ試験飛行實施中墜落同月二十八日殉職シタルモノナルカ特ニ生前民間航空ノ發達ニ盡シタル功績ニ依リ同日附頭書ノ通敍勳アリタル處同人ハ當時大本營陸軍部囑託（無給）トシテ支那事變（第二次）ニ關與シ其ノ功績優秀ナル廉ニ依リ勳六等瑞寶章擬敍ノコトニ内定シ今回陸軍省ヨリ第二次死歿者行賞方奏請致度ニ付右敍勳取消方内議アリタル次第ニ有之候右ハ全ク當時同人履歷書ニ大本營陸軍部囑託（無給）ノ事項ナカリシ爲之ガ行賞ニ相當スル功績ナキモノトシテ取

逓信省

12

扱タル結果ニシテ取扱者ニ對シテハ將來再ヒ此ノ種錯誤ヲ來ササル様  
注意致置候ニ付御了承ノ上可然御取計相煩度候

選  
信  
省

裏  
面  
白  
紙

(凡)

日本國學編輯部刊

明治三十二年三月刊





官秘庶第二五六五號

昭和十八年五月十五日

遞信次官 手島

賞勳局總裁 瀬古保次 殿



航空局囑託青木奉藏敘勳取消ノ件  
首題ノ件ニ關シ本日當省大臣ヨリ敘勳取消手續相成候處本件調査ノ結  
果別紙事由書ノ次第ニ付前敘勳御取消方御配慮相煩度此段及御依頼候



めくれず

裏面白紙

遞信省

98

日本国憲法第112条

官祕庶第三五六五號

昭和十八年五月十五日

逓信大臣寺島



内閣總理大臣東條英機殿

別紙青木峯藏叙勲取消、件  
上奏書進達、



15